

3.EPSの燃焼性試験

—— JIS規格と関連諸規格

規格

JIS A9511-1995

JIS K7201-1995

名称

発泡プラスチックの燃焼性-測定法A

酸素指数法による高分子材料の燃焼試験方法

測定法

45度角に固定した試験片の底角から10mmに着火限界線、着火限界線から20mmのところに燃焼限界線を印しろうそくを着火限界指示線まで移動させ着火限界指示線まで達したならば、炎を手早く後退させ、炎が消えるまでの時間を測定

円筒形燃焼室内で材料が燃焼を持続するのに必要な空気中の容量%で表される最低酸素濃度の数値

測定値 $OI = O_2 \div (O_2 + N_2) \times 100$

OI:酸素指数

O₂:酸素濃度

N₂:窒素濃度

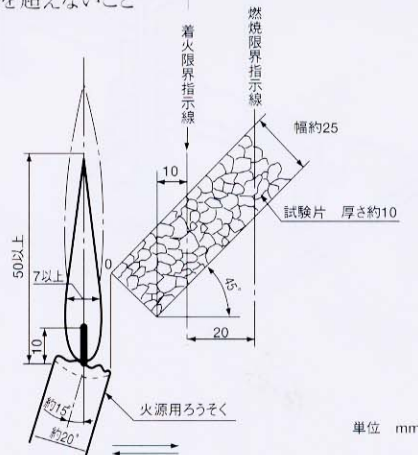
判定

3秒以内に炎が消えて残じんがなく燃焼限界指示線を超えないこと

この数値が大きいほど燃えにくい事を表す。

試験装置

図1 JIS A 9511 測定法A



単位 mm

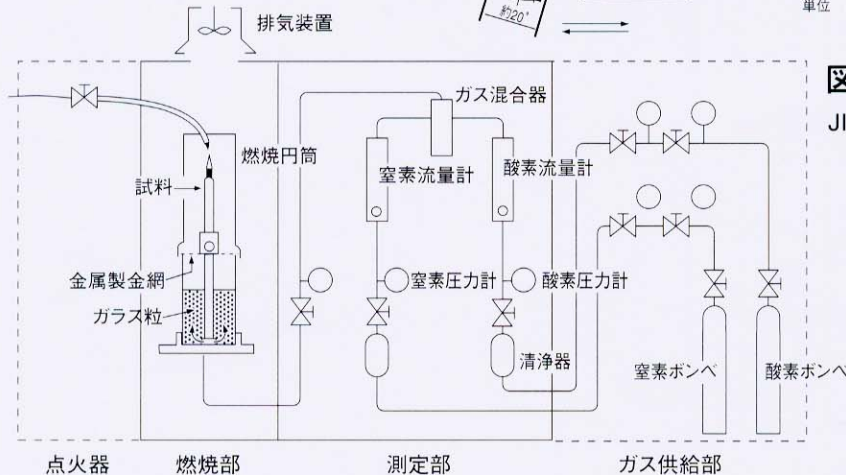


図2 JIS K7201

■本資料に関するお問い合わせは

発泡スチロール協会・EPS 建材推進部

TEL.03-3861-9046 FAX.03-3861-0096

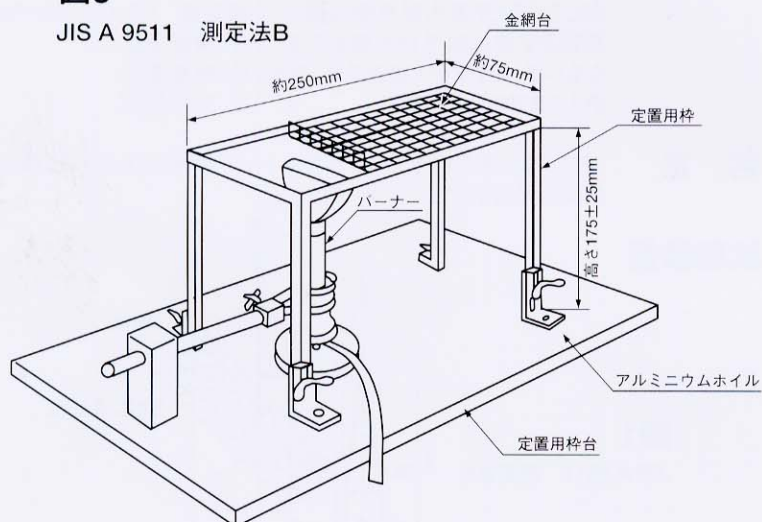
表4

関係諸規格	地域	適用範囲
ISO9772 1994 ASTMD4986-95 BS4735 1974 UL94-4 1995	国際規格 アメリカ イギリス 主にアメリカ	発泡ポリマー材料が対象。試験片を水平に置き小炎でその燃焼性と燃焼時間を測定。 JIS A9511燃焼試験 測定方法Bと原理は同じ。 主に機械部品へ適用される。 ※コントロールされた試験場所での発泡製品の燃焼性評価と品質管理に適用される。建材又は家具が実際の火災で示す挙動の評価は対象とされない。
DIN4102-1 1998	ドイツ	建築材料、部材専用で燃焼特性を比較

試験装置

図3

JIS A 9511 測定法B



■本資料に関するお問い合わせは

発泡スチロール協会・EPS 建材推進部

TEL.03-3861-9046 FAX.03-3861-0096